

保護者のみなさまへ

児童虐待に関する小・中学校の対応について

小・中学校では、子どもの安全・安心が疑われる次のような場合に、
速やかに児童相談所または市役所に^{●●●●●●●●}通告することが義務づけられて
おりますのでご理解ください。なお、虐待の判断は、児童相談所や市役所
が行います。

- ・骨折、やけど、アザ、傷などがある。
- ・長期間お風呂に入っていない、または服などが洗濯されていない。
ひどく不潔なままである。
- ・必要な受診や治療を受けていない。(病気、虫歯、予防接種や健診など)
- ・日常的に朝食を食べていない。食事が不足している。
- ・親が子どもを過剰に怒鳴る、子どもの自尊心を傷つける言動がある。 など

児童虐待とは・・・?

身体的虐待

殴る、蹴る、叩く、
溺れさせる、
やけどを負わせる、
家の外にしめだす など

性的虐待

子どもへの性的行為、
性的行為をみせる、
ポルノグラフィティの
被写体にする など

ネグレクト

乳幼児を家に残して
外出する、食事を与えない、
自動車の中に放置する
など

心理的虐待

言葉により脅かす、無視する、
子どもの目の前で
家族に対して暴力をふるう
など

例えば・・・

- 何度言葉で注意しても聞かないので頬を叩いた。
- いたずらをしたので長時間正座をさせた。
- 宿題をしなかったので家の外に立たせた。

▶▶▶身体的虐待です

例えば・・・

- 「お前なんか生まれてこなければよかった」など
子どもの人格を否定することを言った。
- きょうだいを引き合いに出してけなした。

▶▶▶心理的虐待です。

★体罰等の虐待は、子どもの発達（脳の成長）に悪影響を及ぼします。
★子どもの気持ちを受け止め、肯定文で穏やかに分かりやすく言葉で伝え、手本を示し、できていることは具体的に褒めることを心掛けましょう。

【お問合せ・ご相談】
安来市役所子ども未来課
☎0854-23-3222